

報 告 書

(委員会名) 総務民生常任委員会

(視察日) 令和6年10月18日(金)

(視察先都市名) 福岡県福岡市

(視察項目) 地域ポイント事業「ふくおかポイント」について

(内容) 報告者 橋本彬穂

(概要)

ふくおかポイントは、市民が善意で取り組まれている地域活動などに対する感謝の気持ちとしてポイントを渡し、地域活動などの活性化や支援につなげることを目的としており、令和6年5月から実証実験を始めている。

仕組みとしては、市から自治協議会などへポイント付与の仕組みを提供、これを受け住民への参加促進や地域の担い手確保、地域住民に活動へ呼びかけをし、活動に参加した住民にはポイントを付与そして貯まったポイントは特別な権利や体験、公共施設の利用チケットや市の施策に関するグッズと交換することができるといった仕組みになっている。

市内には全152校区あり実証を行っているのは9校区で、新たな取り組みであるためワークショップを開催し市民と一緒に事業の仕組みや運用方法などを検討し、順次校区の拡大を行っていく方針である。

どの活動を対象とするのかは、各校区が取り組む地域活動の中から校区の判断で決定、また活動に対するポイント数は活動を3つに分類（役員等への就任、校区行事等の企画や運営、活動への参加）した上で従事する時間や役割などを勘案して基準を作成している。

(考察・感想)

様々な社会課題の解決に向け地域コミュニティの役割が重要だが住民同士のつながりの希薄化が進行、そこで市民参加のまちづくりを推進する仕組みを構成し住民同士の交流促進につなげようという取り組みが素晴らしいと感じ、敦賀市にも取り入れられないか今後もしっかりと調査していきたい。

(他委員の所感)

・福岡ポイントはボランティアを促すために大変いい施策だが経費が掛かりすぎるので検討が必要。

・地域活動などの活性化や支援につなげることを目的に、参加者にポイントを付与する仕組みは、良いアイデアだと思う。敦賀市は福岡市ほどではないが、区の役員の成り手が少ないなど住民同士のつながりの希薄化が心配される地区もある。敦賀市でも、今後導入を検討してよい取り組みだと思う。ポイントは、市主催イベントなどへの優先参加や、公共施設の利用チケットな

どに利用でき、換金はできない。市の催しや行政への理解、関心を深めるのにも役立つと思う。

・本来無償で行う市民の地域活動に対して、公共施設が利用できる等のポイントを付与する取り組みは、地域の繋がり希薄化解消の一手になると考えるが、システム運用等の多額の費用面と効果を鑑み、今後しっかり検証していきたい。